1月号 第87号

発行日　：2023年１２月２０日
発　行　：　**虹技株式会社**
安全環境管理部 環境管理Ｇ
姫路市大津区勘兵衛町4丁目1
☎ 079－236－3257

冬到来ですね。　冷え込んだ朝には、夏の酷暑ですら恋しくなります。　寒暖差の大きいこの季節、体調には十分気を付けてくださいませ。

さて、タイトルバックは久しぶりにゆめさきの森に姿を見せたカワセミです。　この輝く鮮やかな青色は構造色で、光の当たり方で青から緑に変化します。その美しさから「渓流の宝石」なんて呼ばれることもあります。　漢字では「川蝉」と書きますが、「翡翠」と書いてカワセミと読むことが多いです。　まさに鳥界のヒスイなんですね。

こちらの変わった形のキノコはツチグリです。　クリのイガがはじけた様子に似ているのでその名がつきました。　木の実のように見えて実は、地面から生えているれっきとしたキノコです。　真ん中の丸い部分は胞子袋でここからパフパフッと胞子をまきますが、どうしてこんな形になったのでしょうね。

左下の写真はキトンボです。　赤トンボがすっかり姿を消した冬でも頑張ります。　きれいな水辺に生息し全国に分布していますが、個体数はあんまり多くありません。　晩秋の紅葉に映えるきれいなオレンジ色ですね。

この赤い実はヤブコウジです。　万葉集では山橘（ヤマタチバナ）と詠まれ

“あしひきの　山橘の色に出でよ
語らひ継ぎて　逢ふこともあらむ“

別名は十両。　万両（マンリョウ）、千両（センリョウ）、百両（カラタチバナ）と同様に、緑と赤のコントラストが美しく、おめでたい正月飾りの定番となっています。

こちらはコウヤボウキの花。　高野山の僧侶たちが茎を束ねて箒の材料としたことが名前の由来です。キク科の可愛らしい花でこちらも正月の飾りなどに必ず添えられます。

環境部（じじい）のつぶやきコラム

先日、パラスポーツ体験会に参加したんじゃ。　これが思いもよらずわしには刺激的な体験じゃった。かつてわしもサッカーはしておったが、爺になってからはとてもできるスポーツじゃない。　もちろん野球もバレーも、とてもじゃないができる気がせん。　年相応にできるスポーツと言えば、ゴルフかゲートボールぐらいじゃろう。　ずいぶん気張ってテニスがせいぜいじゃ。

ところがこのパラスポーツというのは、障がい者はもちろんながら健常者も老人もみんなが同レベルで楽しめるように工夫されておる。　色々と体験したのじゃがどれも底抜けに楽しい。　特に「ボッチャ」は、ゲームとして楽しいだけではなく、囲碁や将棋のように先手を読む頭脳プレイが勝敗を分けるし、大逆転もあって実にスリリングでおもしろい。

さらに、驚いたのはスポーツ用車いすの機動性じゃ。そう、バスケットボールやラグビー、テニスなんかでおなじみのハの字車輪の車いすじゃ。　乗ってみてビックリ！　加速、ターン、ブレーキどれをとっても軽い力で鋭く動いてくれる。　レスポンスは想像をはるかに超え、その性能に感心することしきり。　ちょっと欲しくなったぞ。　知恵を絞ればどんな人でもスポーツを楽しめることが出来るのじゃな。

さて、それに比べて COP28 の混乱ぶりはどうじゃ。とても知恵を絞っているとは思えんがの。　立場も違えば利権も違い、それぞれが自国の都合ばかりを主張し、地球規模の問題を考える国際会議とはまるで思えん様相を呈しておる。　いくら、輪番で回ってきたとはいえ、経済基盤の大半がオイルマネーという中東での開催は厳しいのじゃろうか。　化石燃料の廃止なんてこたぁ、UAE 国内からも相当な反発を食らうし、石油輸出大国のサウジアラビアの横やりも相当な様じゃし、イラク、イラン、クエートも、そりゃ穏やかではおれんわな。

開催当初は、高級リゾート地として有名なドバイらしく、過去最大の８万４千人もの参加者で、にぎやかできらびやかなお祭りムードで始まったが、その期待とはうらはらに会議は疑問だらけの内容じゃ。

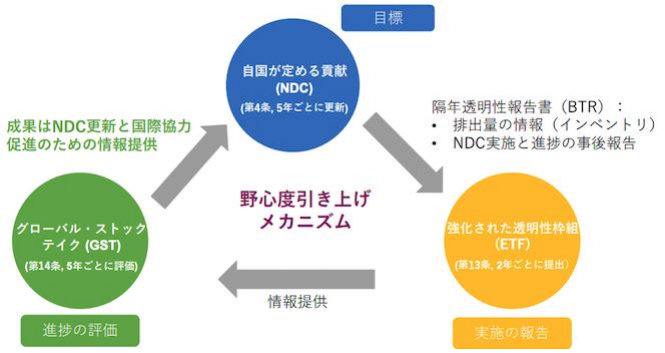
2030 年には再エネ・原発を現在の３倍にすると宣言したり、石炭転換すれば農家の土壌改良支援すると約束したりと、様々な資金援助宣言やら、まるで宣言のたたき売りのようにわしは感じた。　しかも、これらの約束や宣言には拘束力が全くないのが今回の特徴じゃ。　つまり、実行するかどうかはハッキリしないのじゃ。

５日に出された合意文書案では、米欧の意見を盛り込み「化石燃料の段階的廃止(フェーズ・アウト)」の予定だったが、会議終盤に出された草案は、「化石燃料の消費と生産を、公正で秩序だった衡平な方法で削減する」と、何ともまぁ回りくどい表現になり、米欧やら島しょ国から大ブーイング。　会議を一日延長し、徹夜の折衝の末「およそ 10 年で化石燃料からの脱却を加速」という、これまた曖昧模糊とした文言で幕を引くこととなった。

８万４千人もが世界中から集まり 13 日間もかけたわりには、拘束力のない口約束の数々と数値目標のない成果文書だけじゃ。　米欧が廃止にこだわったのは「廃止＝ゼロ」という数値じゃからじゃ。　削減や脱却や加速とかの表現は、感覚や解釈の違いでどのよう

にもとれる。　ハッキリした数値ではない。

議長をつとめたジャベル氏は、UAE の産業・先端技術大臣ではあるが、国営石油会社のトップでもある。その立場からすると、とても化石燃料の生産・使用をゼロにするなどとは言えんじゃろうな。　周辺石油輸出諸国からの強い圧力もあったからの。　会議開催前から、その就任にケチがついていたり、主催国なのにアウェー感は否めず大変じゃったろう。　ひとまずご苦労様と言いたい。



出典：IGES-COP27 の焦点

ところでの、COP２８には本当は目玉となるはずの役目があったのじゃが、米欧と石油国とのこっけいなせめぎ合いがクローズアップされ、すっかり忘れ去られておる。　それはな「グローバル・ストックテイク（GST）」と呼ばれるパリ協定の進捗評価じゃ。
2015 年にパリ協定で、温暖化を 1.5 度以下に抑える目標が設定され、その目標に対して各国が様々な目標を立て、2018 年に諸活動がスタートして今年でちょうど５年になる。　そう、GST は５年に一度行うことになっていたのじゃ。　ISO で言う PDCA の C（チェック）じゃな。　次の A（アクション）を決めるための大事な作業のはずじゃが、今会議の内容として全く報道されておらん。

気候変動に対する見解の違いや、化石燃料への経済依存の高い国からの反発がここにきて噴出、2018 年に設定した諸活動と目標がまったく進んでいないことは周知の事実じゃ。　そんな中、進捗評価などあえて発表する必要がないとでもいうのか、今回の COP２８では「議論が振出しに戻る可能性もあることが分かった」ということが一番の成果だったかもしれんのう。

さて、今年も残すところあとわずかじゃ。　今年もいろいろあったが、皆はどうだったかの。　コロナによるマスク解禁や、阪神タイガースの３８年ぶり優勝やヴィッセル神戸の初優勝など、喜ばしいできごともあったが、年末恒例、今年の漢字が「税」だったり、パー券販売のちょろまかしがバレたりと、不信感が募っただけで年を越すことになり、国内政治は全くぱっとせん。

そんな一年じゃが、わしがもっとも意表を突かれたのは「新しい学校のリーダーズ」の四人組。　彼女らの歌とそのパフォーマンスは何か突き抜けておる。コミックバンドでもなくお笑い芸人でもなく、笑わそうとしているのか、主義主張をシャウトしたいのか、キテレツな動きにピタリとあったダンスと、なにしろユニークすぎて、これまでに見たことのない感じじゃ。このはみ出しぶりは、どのジャンルにも当てはめることが出来ん。　しいていうなら、「勝手にシンドバット」でデビューした当時のサザンオールスターズに近い衝撃かも。　来年のわしの推しに決まりじゃ。

それと、最新ニュースで小躍りしたのは、アルツハイマー認知症治療薬「レカネマブ」の保険適用じゃ。こんな高額の最新先端薬が、いきなり保険適用になるとは思いもよらんじゃった。　すごいぞ。　これで怖くなくなった。　認知症どんとこいじゃ。　さらに、足腰が弱って車いすにお世話になる日が来ても、わしゃあのパラスポーツ用車いすで人ごみの中でも華麗なターンで暴走してみせるぞ。

ぶつぶつ

虹の森なう

今回も活動には良い気候。　ヒルもやぶ蚊もすっかりいなくなり、虹の森の裏側の藪の中にずっぽり入り込んで作業を行いました。　ヒルがいる季節にはできない作業なので、ようやく集中して雑木を伐りまくります。

どうです？　これがその藪の斜面です。　真ん中に人がいるのが分かりますか？　うっそうとした真っ暗な死の森に変貌しつつあったのです。　ここを生物多様性のある豊かな明るい森に変えるべく、バンバン木を伐り倒していきます。　ただ、斜度がきつくて落ち葉に足をとられ、滑ること滑ること。

雑木は切れば切るほど、つかむところがなくなるため、足を滑らすとズルズルとどこまでも滑り落ちます。しかも作業は長靴なので踏ん張りが効きません。　スパイクの付いたような長靴を探さないとね。

この、的場リーダーの腰つきがいかに滑り易いか見て取れると思います。　ヘピリ方が半端じゃない。

雑木伐採班が悪戦苦闘している間、デッキ建築班はデッキ端を切りそろえたり、アプローチ階段を造作すべく木材を選定したりと、その大半はひたすら伐り倒したスギの皮むき作業に従事しました。

寒くなって丸太の皮むきは手がかじかみ、乾燥した皮は硬く、なかなか簡単には剥がれません。　何か良い皮むき方法がないか研究の余地ありです。　雑木伐採班も皮むき班も、今回は一日フル稼働。　作業後の温泉が体中にしみわたりました。

♨♨♨♨♨♨♨

第93回　森林整備の案内と参加者募集

新年初の森林整備、少々寒いかもしれませんが、前回、はしごを忘れたため、出来なかった巣箱掃除を行います。ヒルの居ぬまにと、フル回転で雑木伐採をせっせとすれば身体が温まり、寒さなんてへっちゃらです。　皮むきも汗をかくくらいですよ。　いい汗かいた後、温泉でほっこりしませんか。　初めての方大歓迎、気軽にお声がけくださいね。

日　時　：　１月１３日（土）　１０：００～１５：００（９：３０公園駐車場集合）

場　所　：　県立ゆめさきの森公園（虹の森）

申し込み：　参加希望者は、環境管理Ｇ　的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。
的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。